

2023年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
福祉と建築											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	岩田 明士			実務経験	有	職種	建築設計 一級建築士				
担当教員紹介											
アトリエ事務所勤務、住宅、美術館、学校など幅広く設計の実務を経験後、独立し設計事務所を運営する。 独立後は住宅建築を中心に医院建築などの設計監理業務を20年ほど行う。 資格:一級建築士、福祉住環境コーディネーター2級											
授業概要											
建築において福祉に関して教養として学んだ上で、福祉住環境コーディネーター検定試験に対応した演習問題を中心に取り組む。											
到達目標											
次の3点を到達目標とする。 ①高齢者や障がい者が暮らしやすい環境とは何か、建築視点の知識を身につける。 ②建築だけでなく、医療・福祉の分野の幅広い知識を身につける。 ③福祉住環境コーディネーター3級合格を到達目標とする。											
授業方法											
公式テキストに沿って講義する。講義は医療・福祉・建築の分野を体系的に幅広く、かつ総合的知識が身につくように行う。高齢者等のクライアントの千差万別なニーズに応えられるよう、各単元は複合的な視野から考えられる訓練を行う。 また、建築計画1における住宅に関する知識や、建築一般構造1の軸組構法も関連しているので、復習しておくこと。											
成績評価方法											
提出物、授業態度、平常点、などを総合的に判断する。											
履修上の注意											
出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。											
教科書教材											
福祉住環境コーディネーター検定試験3級公式テキスト 福祉住環境コーディネーター検定試験3級 過去&模擬問題集											
回数	授業計画										
第1回	バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方										
第2回	生活を支えるさまざまな用具について										
第3回	住まいの整備のための基本技術（段差・床材・手摺・建具）について										
第4回	住まいの整備のための基本技術（幅・家具・冷暖房・非常時の対応・維持管理）について										
第5回	屋外移動・屋内移動・排泄・入浴について										

2023年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
福祉と建築	
第6回	清掃・洗濯・調理・就寝・妊娠に対する配慮について
第7回	ライフスタイルの多様化と住まいについて
第8回	安心できる住生活について
第9回	安心して暮らせるまちづくりについて
第10回	地域で取り組む福祉のまちづくり実践事例について
第11回	過去問演習（60％以上正解を目標）
第12回	過去問演習（70％以上正解を目標）
第13回	過去問演習（75％以上正解を目標）
第14回	過去問演習（80％以上正解を目標）
第15回	本試験を振り返り足りない知識を補いレポートを作成